

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）札幌車両基地
壁面デザイン検討会（第1回）
議事概要

令和6年9月19日（木）10:30～12:30
於：鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局
6階第1・2会議室

○ デザインするにあたっての検討事項

・委員より以下の意見があった。

長大な構造物の特性を理解した上で、都市景観に十分配慮したデザインと
する必要がある。

→ 遠景よりも「中景」、「近景」に対し配慮する必要がある。

→ 新幹線札幌駅との連続性に配慮する必要がある。

→ JR在来線内からの見え方にも配慮する必要がある。

○ デザインの制約条件

・構造上の条件である外壁面の凹凸等が存在することによる制約や安全上の条件である法令による排煙設備の必要性など、制約条件を踏まえたデザインを検討する必要があることを確認した。

○ デザイン検討の方向性

・目指すデザインの方向性として、制約条件等を踏まえた上で、周辺の市街地環境と調和したデザインとすることを確認した。

・デザインを検討するにあたっての具体的な手順について、委員より以下の意見があった。

→ 全体デザインを検討すると同時に、特に配慮すべき箇所を抽出した上で、その箇所についてデザインを検討すべき。

→ 特に配慮すべき箇所としては、苗穂駅付近の北面、新幹線札幌駅と連続する東2丁目線や東4丁目線の道路交差部、北ガスアリーナ並びに厚生病院付近が挙げられる。

○ P I（パブリックインボルブメント）の手法

・委員や関係機関より以下の意見があった。

→ 周辺住民の意見を聞き、反映させるためにPIを実施した方がよい。

→ PIの手法として、市民、特に関係地域の住民の方々へ直接情報を伝達でき、意見交換も可能な手法であるオープンハウスが良いのではないか。

○ 今後のスケジュール

・検討会を概ね3回開催し、市民の意見等を反映したうえでR6年度内を目途にデザインを決定する予定。

○ その他

・デザインに関するフリーディスカッションを行った。